

第 71 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 1 月 8 日(金) 15：00～16：00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、1月6日以降の状態をそれぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 国が発令した緊急事態宣言の内容について報告された。

<議題>

- ◇ 「感染拡大を食い止めるための緊急特別対策」の実施について、「医療崩壊回避のための緊急特別対策」実施中であるが前倒しで実施すること、及びその内容を協議した。
- ◇ 営業時間短縮要請については実施中の那覇市・浦添市・沖縄市・名護市・宜野湾市の延長、及び新たに宮古島市・石垣市を追加すること、県外との往来については国の緊急事態宣言が発令された地域との不要不急の往来を自粛すること等を決定した。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事（リモート参加）、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、宮沢 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、長嶺 農林水産部長、上原 土木建築部長、嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から前日時点の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料1】
 - ✓ 年明け新規陽性者数が増加しており、療養者数等が増加してきている。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 北部病院、八重山病院で患者が増加している。両地域とも人工呼吸器管理あり。
また、八重山地域で外来の看護師が陽性となり 1/12 本島から応援予定。
 - ✓ 中部病院は一般病床が満床となってしまった。南部医療センターは ECMO が 3 台稼働している。非コロナ、コロナ問わず重症者が増えている状態にある。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告【資料 2】
 - ✓ 1 月 7 日に嘉手納基地で 3 名、普天間基地で 2 名、キャンプハンセンで 2 名、キャンプフォスターで 1 名の新規感染者が報告されている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-10】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告
 - ✓ 非コロナの病床利用率は 90%以上となっており、厳しい状況が続いている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたり新規感染者数を全国と比べると、1 位は東京都で全国的に拡大が更に進んでいる。
 - ✓ 県内の地域別の感染状況を見ると、特に中部南部地域で感染拡大が見られる。
 - ✓ 療養者数については、11 月を超えて 8 月の水準に近づきつつある。
 - ✓ 感染者に占める 60 代以上人口の割合は約 2 割程度の状態。
 - ✓ 医療のひっ迫を考慮する指標として、中等症以上の割合があり、58 名まで減ったが直近 74 名であり上昇傾向が懸念される。
 - ✓ インフルエンザについては 3 例で幸い拡大傾向にない。

(4) 宿泊施設の運用状況について

- 総括情報部から、各地で運用している軽症者用宿泊療養施設の状況について報告
 - ✓ 療養者が増加しており、来週中にはリゾートネックス那覇を再開して軽症者を受け入れる予定である。

(5) 沖縄県人口変動状況について

- 配付資料のとおりであり、説明を省略した。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告
 - ✓ 最近の状態としては、前回報告した 20 代同級生の忘年会で発生し、その 1 名が家族及び職場である幼稚園で広げてクラスターとなっている事例、石垣のラウンジ、浦添の朝まで営業している居酒屋のほか、大きな会社の納会で 8 名確認

したものを、現在那覇市保健所が調査中。

- ✓ 沖縄県のクラスター公表の考え方についての内容を説明、公表の目的は感染拡大防止のためであり、クラスターが発生しやすい場所等を説明し啓発している。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 総括情報部から、直近1週間宮古は増減を繰り返しているが、八重山地域は増加傾向にあることを報告

(1～7 までの報告事項に関する主な発言)

- ✓ 納会でクラスターをおこした会社の例があることから県が業務委託している事業者等には、各部局から注意喚起するよう指示があった。
- ✓ 宿泊療養施設について今後の借り上げの想定はあるのか？
→中部地域の物件をあたっているが要件に合致する場所が見つかっていない。
今回リゾネックス那覇を開けるので当面は対応出来る見込み。

(8) 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言について

- 総括情報部から昨日国が発令した新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の内容について報告
- ✓ 対象地域は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県で期間は1月8日から2月7日までとして発令
- ✓ 主な内容は、外出の自粛、イベント等の開催制限、施設の使用制限、職場の出勤の7割をテレワークにすることなど。

<その他報告事項>

- 文化観光スポーツ部から TACO の週間実績及び RICCA の登録状況について報告
- ✓ RICCA の登録について県庁職員の 70%を達成した。引き続き登録率を高めるため協力お願いしたい。
- ✓ また、RICCA 登録のポスターを配布しているので協力お願いする。

3 議題

(1) 感染拡大を食い止めるための緊急特別対策の実施について【資料7】

- 商工労働部から新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議の主な内容について以下のとおり報告。
 - ✓ 現在の感染状況を糸数統括監が説明した上で各団体から意見を伺った。
 - ✓ 時短要請の延長はやむを得ないが、地域、業種、期間を限定し必要最小限となるようお願いしたい。
 - ✓ 時短要請については、概ね了解だが数値的根拠に基づく指定及び協力金の支給が条件。
 - ✓ 観光業界への打撃は大きく来県自粛については反対。
- 文化観光スポーツ部から観光関係団体の主な意見について以下のとおり報告。
 - ✓ 来県自粛は反対。もし記載するとしても「慎重に判断すること」といった表現にして欲しい。
- 総括情報部から医療関係者の主な意見について以下のとおり報告。
 - ✓ 時短要請及び首都圏との往来自粛については基本的に賛成
 - ✓ 往来については、変異株が確認されたらその自治体との水際対策を想定する必要がある。
 - ✓ 保健所に全く協力しない来訪者が現在3名おり保健所の指示に従うよう協力を呼びかける必要あり。
 - ✓ 医療機関についてはかなり現場が疲弊しており何らかの対策が必要。
 - ✓ 宮古・八重山については感染者が入ってくることは医療に負荷があるので時短には賛成。
- 総括情報部から感染拡大を食い止めるための緊急特別対策の実施について説明。
 - ✓ 営業時間短縮要請によって、該当5市の飲食関係の陽性者数は減少している。

しかし年明けから陽性者数が増えている状態にある。

- ✓ 移入例について、12月以降合計84名発生している。割合は全体の6%で殆ど首都圏からの来訪者である。年末年始は11%に増えており感染者数を押し上げる要因となっている。
- ✓ 12月末には直近の目標1日10人程度、中等症以上50名以内に近付いたものの、年明けに再び増加に転じている。より一層の新規陽性者数を低減し医療提供体制を維持するために、時短要請の継続及び宮古地域と八重山地域の追加、首都圏との往来自粛を求める必要があると考えている。
- ✓ 緊急特別対策については、期間を国の緊急事態宣言と合わせる。
- ✓ 営業時間短縮に現行の5市に2市を追加したい、石垣市は直近増加傾向であり宮古島市は増減を繰り返しているが厳しい状況にある。
- ✓ 要請のあった、うるま市や八重山地域の竹富町や与那国町では飲食関係の感染は増加していない。
- ✓ 外出時の注意として、クラスターの発生している場所や3密回避できない場所への外出を控え、買い物も少人数・短時間にしよう願う。
- ✓ 離島との往来については、従来通り最小限にしよう願う。
- ✓ 県外との往来について、緊急事態宣言が出されている東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県との不要不急な往来は自粛を願う。
- ✓ 成人式の開催について、式典終了後の宴会を控えるよう周知徹底する。新成人に対し式典前後の宴会への参加、体調不良時の式典への参加、及び式典会場等での密集を控えるよう願う。
- 緊急特別対策を踏まえた主な経済対策について商工労働部、文化観光スポーツ部、農林水産部から説明。
- ✓ 商工労働部から事業の継続、雇用の維持のため切れ目の無い対策を講じるとして、①プレミアム付きクーポンで大手を外して中小事業者の需要喚起策を行う。

②資金繰り支援として実質無利子、保証料ゼロ、据え置き期間5年以内の新規貸し付け事業を行う。③雇用を維持するための支援 の3点を説明

- ✓ 文化観光スポーツ部から、おきなわ彩発見キャンペーンの第3弾を県内の感染状況を踏まえて実施すること、GOTOとの併用不可なので第1弾、第2弾より補助率を上げること、離島との往来は対象外とすることを説明。
- ✓ 農林水産部から県産農林水産物の物流確保対策のための「航空物流機能回復事業」及び県農林水産物の販路確保対策について説明があった。

(質疑応答)

- 保健所の協力に応じていただけない方に対する法的な対処はどうなるのか。
 - ✓ 現在厚生労働省に確認中、行方不明者は警察に届け出をして警察立ち会いのもと対応した例もある。県の対応として航空会社に情報を提供し、その約款に基づき搭乗を断っていただくといった感染症法で対応できない部分を埋めている状況。
 - ✓ 明日、全国知事会に要求する点があればまとめておくように。
 - ✓ 全国知事会から自宅療養や宿泊療養を義務化するよう国に提言する予定。
 - ✓ 県としては、保健所の入院勧告に従わないで飛行機に乗ろうとした方の情報を航空会社に提供できる仕組みの整理を内部で調整中である。
- 県外往来について、受験は不要不急に当たらないことを発言して欲しい。北谷町の学校教員の飲み会による感染者が多数いるが北谷町を入れる必要はないか。
 - ✓ 北谷町のケースについては、沖縄市内の店舗を借り切って開催している。
 - ✓ 県外の受験についての、コメントをどう出すか検討する。
- 国関連資料で緊急事態宣言を発出していない地域での措置として外出自粛の表現があるので外出時の注意ではなく自粛がよいのではと意見あり。
 - ✓ 更に事態が悪化した場合、県独自の緊急事態宣言時に外出自粛を検討したい、自粛は表現として重いので今回は中身が注意喚起なのでそれに合わせた。

- 緊急特別対策を出した後に、より事態が悪化した場合は一段階レベルを上げた措置をだすという考えでよいか。
 - ✓ その考えである。
- 彩発見キャンペーンについて県議会各会派に説明を実施、概ね必要性は理解してもらったが、人の移動を抑える必要があるのではとの意見があった。医療サイドの賛同は得られているのか確認して欲しいとのこと。また、このまま行くとステージⅣに移行しそうである。県として緊急事態宣言に向けた取組はあるのか。
 - ✓ 一つは7月の後半のような感染拡大のスピードがあるか懸念している。そのスピードが速くベッドの占有率が高いと東京のように自宅待機が増加してしまう。指標に加えて受入病院の先生方の現場感覚も注視し、必要な場合は手を打つべきだと思う。
 - ✓ 彩発見キャンペーンについて意見はとってないが、今後感染が落ち着くというより、県外からの移動を含めてより強い措置が必要になると考えている医療関係者が多い。
- 感染のレベルが悪化したら外出の自粛を含めた対策を行うとしているが、その場合はどうすべきと考えているか。
 - ✓ 感染が拡大した場合、保健医療部としては中止なり延期なりを行う必要があると思う。
 - ✓ 文化観光スポーツ部は、医療関係者の認識を観光団体に事前に説明をお願いしたい。
 - ✓ 事業の前提として感染状況が落ち着いたら実施するとなっているので、早めに情報があると助かる。観光業界としても各団体として感染防止に取り組むよう周知に努めたい。
- 次の強い対策を打つときには、経済の視点を取り入れて欲しい、国への支援を求める等の表現を入れて欲しいとの意見あり。

- 警戒レベルの各指標が悪化している、4が増えたら県の緊急事態宣言により外出自粛という強い措置を行わないと医療崩壊が現実になると思う。その時は今年の4月のように雇用調整助成金等を国に求め経済対策基本方針に基づいて対策を打つ必要があると意見あり。
- 明日の全国知事会で国への支援を求める項目を企画部と保健医療部で確認するよう指示有り。
- 彩発見キャンペーンについては、前回、大手にばかり集中したとの意見もあるので、感染防止の徹底と本来の目的である中小企業の救済に繋げるようにして欲しいとの意見あり。
- 感染を食い止める取組は県だけでなく、市町村も協力しないといけない。時短要請を行う7市について市長から市民向けに協力を呼びかけてもらえないか意見あり。
 - ✓ 市としても取り組むよう文書等で伝えたい。
- 今回の緊急特別対策は、期間を前倒しして1月8日から開始すること、時短営業は1月31日までとすること、それ以外の項目は2月7日まで実施することを確認

＜議題のまとめ＞

「感染拡大を食い止めるための緊急特別対策」について原案どおり決定し、受験のための往来は不要不急に当たらないことを知事コメントに入れて発出することを確認。

4 その他報告

特になし

5 閉会